

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ここあ			
○保護者評価実施期間	R8年1月8日		~ R8年1月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	19人
○従業員評価実施期間	R7年2月1日		~ R7年12月29日	
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業所向け自己評価表作成日	R8年1月8日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの声 「子供がここあに行きたい、ここあを楽しくしている」との声が多くある。	一人ひとりの児童の特性や個性を大切にしている。 社内・外客対応係に積極的に参加し、児童に対する職員への支援の質の向上に努めている。	支援の質の向上のため、随時社外研修等に参加し、保護者との関わりを大切にしている。
2	イベント・活動内容の充実 ・季節のイベント(ただし開花、クリスマス、節分等) ・公園やダンス、絵画、歌、買物体験等	様々な特性を持つ児童が、無理なく皆と一緒に活動が楽しめるようにしている。 長月休みの時は、季節や時期に合わせた企画を取り入れ、普段とは異なる体験が出来るようにしている。	活動後に職員間で振り返りを行い、良かった点や児童の反応などをもとに、内容を直し、次回に反映させる。
3	船越小児童会、児童発達支援ほしのこ、放課後等デイサービスある。あ、とほむらとの地域交流や他事業所との交流が多い。	児童や児童会、他事業所との交流において、権のつぼがりを絶えず事付く。地域交流に積極的に取り組んでいる。	年一回以上の交流会を実施し、継続的な繋がりを築けるように取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	養育室等の個室がない	事業所の構造上、個別部屋を制作するのは難しい。	児童が安心して出来る雰囲気作りや、落ち着ける場所を、必要に応じて作る。
2	保護者との交流が少しい	連絡中長や送迎時、面談等以外で取り入れる事が少ない。	現在年一回以上の保護者との交流イベントを開催し、改善を図っている。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ここあ

公表日 年月日 R8.3.1

利用児童数 年月日 22名 R8.1.30 回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制・ 設備	1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると見えますか。	16	3				
	2. 職員の配置数は適切であると思えますか。	19					
	3. 生活空間は、こどもにわかりやすく快適化された環境になっていると思えますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思えますか。	19					
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思えますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思えますか。	16	2		1	写真や絵がいくつ使われているので分かりやすくなったよ。	
適切な支援の提供	5. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	18	1				
	6. 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると見えますか。	19					
	7. こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	19				子供の性格や安全健康を考慮して あらゆる面に対して配慮してく れて保護者としては嬉しいです。	
	8. 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの変化に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	18			1		
	9. 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思えますか。	19					
	10. 事業所の活動プログラムが定文化されていないよう見えていますか。	19					
	11. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1			長期休みに触れあう 機会が多くあっていいと 思います。	
	12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18			1		
	14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等に参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1				
	15. 口頭からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思えますか。	18			1	お迎えの時に色々あ た事を話をして貰うのが 嬉しい。	
保護者 への 関係等	16. 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	19					
	17. 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	19					
	18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5		2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や実施に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		1	
	22	個人情報等の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される際、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				いつも「こあ」「こあ」と言っていて、行きたいアピールをしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 こころあ 公表日 R8年3月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	小部屋はない為、2階のオアシスを使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎月のミーティングにより行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		外部評価の契約がない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの運動行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する時により確認しているか。	8			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

提  
の  
提  
供

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		打合わせは必ずではない
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	3	5	できるだけその日の内に、 だが次の日もある。	忙しい時など"振り返る時間" が取れていない場合もある
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			

関係機関や保護者との連携

26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		他放デイ併用事業所 との連携	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	HP、メール連絡シートを 使った連絡調整を行っている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		新1年生は必ず見学に 行く。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	8		支援者会議の開催	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		船越小児童会との交流	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	協議会の会員が在籍	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	年1回の保護者カサを 開催している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		にあたりを発行し、配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	4		アロマ、インフル等により、見送りにしている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、観察や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギー者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画について紙で渡している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			